

笠松町次世代育成支援地域行動計画 後期計画を策定

「次世代育成支援地域行動計画」は、次世代育成支援対策推進法に基づき、町が進めていくべき子育て支援施策の目標や方向性を総合的に策定したものです。

策定に当たっては、平成21年2月に実施した町民アンケート調査結果を基礎資料として、学識経験者、保健医療関係者、児童教育関係者、児童福祉関係者で構成する「笠松町次世代育成支援地域行動計画策定委員会」の意見・提言を踏まえ22年3月に策定しました。

基本理念は「～ともに育ち、ともに育てるまち かさまつ～」です。次代を担う子どもたちが、未来に夢を持ち、思いやりと豊かな心を持って育つよう、住民協働で子育てを支援することが重要としています。

計画期間は、17年度から26年度までの10年間ですが、この行動計画は、後期計画として22年度から26年度までの5年間です。



重点施策

■ 子育て支援に関する総合的な情報提供システムづくり

- 地域における子育て支援サービスのネットワークづくりを促進します。
- 公共・民間をあわせ子育て支援サービスを効果的・効率的に情報提供できるよう努めます。

■ 住民参加による子育て支援の促進

- 住民に子育て支援サービスの情報を提供し、ボランティア・高齢者に参加を促し、住民参加による地域の子育て支援を拡充させます。

■ 親子の健康づくり支援と保健・福祉の連携強化

- 親子の健康を保持するため、保健・医療・福祉及び教育分野などの児童関連機関の連携強化を図ります。

■ 心豊かな人間の育成を支援する体験の場の充実

- ボランティアや町内会、事業所などが連携し、人や地域とのふれあいの機会となる生活体験・社会体験の場を子どもたちに提供し、心豊かな人間育成を支援します。

